

令和元年度 備中県民局地域づくり推進賞〈局長表彰〉 受賞者（団体）一覧

No.	推薦部所	市 町	受賞団体名	受賞の対象となる取組	備考
①	健康福祉部	矢掛町	みたに 三谷ふれ愛の会	矢掛町三谷地区の住民が主体となり、ミニデイサービス「三谷ふれ愛広場」を週1回開催しているが、ミニデイサービスに自力参加できない高齢者への対応が課題となっていた。このため、平成31年2月から、県の講習を受けたボランティア（通所付添サポーター）による通所付添活動を実施して、ミニデイサービスへの参加を手助けすることにより、今まで自力参加できなかった高齢者が、家に閉じこもらずに、地域との交流を維持することにつながった。	
②	農林水産部	高梁市	かぜ あつ 風を集める会	2017年11月に有漢町認定農業者協議会、風ぐるま市場百姓グループ等のメンバーが参加して「風を集める会」が設立され、まちづくり協議会、NPO法人夢風車うかん、JAびほくぶどう部会有漢支部、人・農地プラン検討会等の団体と、活動の連携、調整を図りながら、農業研修生等の移住者の円滑な定着、農業への参入を支援するとともに、移住者と地域住民の交流活動を通じて相互理解や地域の活性化を図っている。 〈主な成果〉H30～R元年度移住者6組、農業参入者4人、空き屋物件新規登録6件	
③	農林水産部	新見市	いっばんしゃだんほうじん 一般社団法人 ひとともし 人杜守	森林・林業の重要性を普及啓発し、林業で活躍する人材の確保につなげていくため、大学生等を対象とした間伐作業等の森林ボランティア活動を実施し、併せて、これらの取組を通じて地域コミュニティの維持・発展を図っている。 〈主な成果〉H27～H30年度 森林ボランティア活動参加者152人 うち林業事業体へ就職4人	
④	地域政策部	総社市	しもばら さこ 下原・砂古 じしゅ ぼうさい そしき 自主防災組織	総社市下原地区・砂古地区において、東日本大震災後に結成された自主防災組織。 住民が一体となって毎年避難訓練を重ね、平成28年からは夜間訓練も取り入れた。 平成30年7月豪雨では、一人で避難できない高齢者が住民の1割を占めるという状況の中、地区内にあるアルミ工場爆発と大雨という非常事態に見舞われたが、避難の際、日頃の訓練の成果を発揮することができた。	
⑤	地域政策部	高梁市	ねこじょうしゅ 猫城主・ さんじゅーろー	平成30年7月豪雨の直後に備中松山城に住み着き、その愛くるしい姿で観光客を魅了している猫城主「さんじゅーろー」。「さんじゅーろー効果」で、豪雨後激減した観光客数はV字回復した。 高梁市観光協会が後見役として、SNSでの情報発信やLINE用スタンプなど公式グッズの作成、イベントの開催などを通じ、「さんじゅーろー」の活動をサポートするとともに、その効果を市全域に波及させることで、観光による高梁の復興を推進している。 〈主な成果〉 猫城主としてデビューした平成30年12月から令和元年6月の入場者数対前年比28.1%増	